

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
訪問介護員講座Ⅲ(認知症の理解、障害の理解、振り返り)		2年	後期	別途、時間割参照
Course of Study on Visiting Care-Giver Ⅲ				
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義	選択 (訪問介護員ユニット必修)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
「訪問介護員講座Ⅰ」「訪問介護員講座Ⅱ」「訪問介護技術演習Ⅰ」「訪問介護技術演習Ⅱ」「訪問介護技術演習Ⅲ」「在宅介護論」				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
「生活技術論」「訪問介護実習」				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
和田晴美 新井文子	福祉棟2F	初回授業で説明します	授業中に指示します	
授業の概要				
「訪問介護員講座Ⅲ」(認知症の理解、障害の理解、振り返り)では、認知症と障害を理解するための学習を重点的に行う。また、講座の最終科目として、今まで学んだ講義・演習・実習の振り返りを行い、初任者研修修了者としての姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。				
授業の到達目標				
①介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護するときの判断基準となる原則が理解できるようにする。 ②障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解できるようにする。 ③今までの講義・演習・実習を通して学んだことを振り返り、今後も継続した学ぶ姿勢の形成と学習課題を認識することができるようにする。				
授業の方法				
「認知症の理解」及び「障害の理解」は講義中心に進める。「振り返り」の時間はグループディスカッションを通して、実習を振り返り、学びや今後の課題を明確にしていく。さらに全体での発表を通して重要事項が共通認識できるようにする。				
学習の成果				
①認知症ケアの理念や利用者中心のケアの考え方を説明することができる。 ②認知症を引き起こす疾患を列挙することができる。 ③認知症の中核症状と行動・心理症状(BPSD)の基本的特性を列挙することができる。 ④認知症の利用者への対応、コミュニケーションの取り方、介護の原則について列挙できる。 ⑤障害の概念とICFを説明することができる。 ⑥高齢者の介護との違いを念頭に置きながら、それぞれの障害の特性と介護の留意点を列挙することができる。 ⑦講義・演習・実習を通して学んだことをまとめ、利用者の生活を支援するための根拠に基づく介護とは何かを説明することができる。 ⑧今後何を継続的に学習するべきか、自分自身の課題を明確にし、発表することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	認知症の理解① 認知症を取り巻く状況 認知症ケアの理念 (第1～5回、14、15回担当：和田)			
第2回目	認知症の理解② 医学的側面から見た認知症の基礎知識(脳のしくみ、記憶のしくみ)			
第3回目	認知症の理解③ 医学的側面から見た認知症の基礎知識(認知症を引き起こす疾患とその病態、ケア)			
第4回目	認知症の理解④ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活(認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴)			
第5回目	認知症の理解⑤ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活(認知症の利用者への対応、家族への支援)			
第6回目	障害の理解① 障害の基礎的理解(障害の概念とICF、障害者福祉の基本理念) (第6回～13回担当：新井)			

第7回目	障害の理解② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識① 身体障害		
第8回目	障害の理解③ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識② 身体障害		
第9回目	障害の理解④ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識③ 知的障害		
第10回目	障害の理解⑤ 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、支援の基礎的知識④ 精神障害		
第11回目	振り返り① 実習反省会		
第12回目	振り返り② 講義・演習・実習を通して学んだことのグループディスカッション		
第13回目	振り返り③ グループディスカッションのまとめ、発表		
第14回目	試験及びまとめ		
第15回目	介護職員初任者研修修了試験		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		20%	評価基準Sは、授業の準備(テキスト、配布資料等)が整い、授業に集中している。ディスカッション場面では他者の話に耳を傾けつつ、自らの意見も積極的に述べる事ができる。
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		60%	穴埋め問題、文章を読み○×を付けたときの組み合わせの選択問題等
発表内容(態度含む)		20%	振り返り時のまとめの発表で評価する。評価基準Sの発表は、課題を理解し、テーマを掘下げて検討しており、発表方法の工夫がみられ、他者を惹きつけるような生き生きとしたものである。
その他			
教科書と参考図書			
介護職員初任者研修課程テキストシリーズ 2巻(日本医療企画)			
履修上の心得・ルール			
講義・グループ演習に積極的に参加し、学びを共有してほしい。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。			